

2020年
(令和2年)

4月22日

(第三種郵便物認可)
昭和23年4月15日

(毎週火曜日発行)

今号の特集
▷味付けご飯の素特集 ④~⑤面
▷冷凍食品特集 ⑥面
▷かつおパック・削り節特集 ⑧面

中部飲食料新聞社ホームページ
<http://chuin.net/> [業界情報発信中]

K&K 缶つま
10th Anniversary
Since 2010
お誕生日おめでたし

第3368号
発行所
中部飲食料新聞社

名古屋市中村区名駅5-18-9
電話 (052)571-7116代表
FAX (052)571-7118

東京支局

東京都中央区日本橋横山町1-4 203
電話 (03)5614-7531
FAX (03)5614-7532

大正から
食を伝えて100余年
中部飲食料新聞

3月小売店動向

新型コロナが影響

業態間で明確な差生じる

中京地区的食品小売企
業の3月度の業績が発表
された。当月は新型コロ
ナウイルス感染拡大防止
の観点から学校の臨時休
校の要請や在宅勤務の推
進などにより内食需要が
高まり、食品を中心とした
盛な動きを見せ、特に保
有性や簡便性の高い食品
の購買が目立った。また、
中旬以降は週末の外出自
粛要請が出され、外出機
会がより一層減少すると
ともに、内食傾向がさら
に強まり生鮮食品加工
食品、中食のいずれも需
求が伸びる。既存売上を
見るとヤマナカが8.0%

アはフアミリーマート
増、パロー3.3%増、MV
%減、セブンイレブン3.2%
増、東海8.8%増となり、オーケ
ワは12.5%増であった。
ナウイルス感染拡大防止
規模の大きいGMSが多い
ユニーは1.8%増、イト
ヨーカ堂は5.4%減とな
る。この数値には食品だ
けなく需要の伸びた生
活用品や需要の下がつた
衣料品を含んでいるが、
食品SMと比べて数値は
及ばなかった。百貨店や
モール業態は外出自粛の
影響を大きく受け、特に
来店客数が大きく減少す
る。ドラッグストアは好
調を持続、中部薬品では
全店売上8.0%増、既存店
売上2.5%増と伸長。前月
と比べると伸長率で及ば
ないが、前月の伸長はト
イレットペーパーなどの
生活用品で極端な購買が
生じていたことによるも
の。コンビニエンススト
アは、強化された基本契約を締結した。

輸入小麦の政府完渡価
格が、20年4月1日より
5銘柄平均で3.1%引き上
げられたことに伴い、製
粉メーカー各社は業務用
小麦粉の価格改定を決断
した。

日清製粉 上げ／25kg当り
日本製粉 上げ／25kg当り
昭和産業 上げ／25kg当り
業務用小麦粉の価格を
6月20日出荷分より改定
する。改定内容は▽業務
用強力系小麦粉／五五円
の値上げ／25kg当たり▽同
中力系・薄力系小麦粉／
七五円の値上げ／25kg當
り▽同国内産小麦100%小
麦粉／六五円の値上げ／
25kg当たり

業務用小麦粉の価格を
6月20日出荷分より改定
する。改定内容は▽強力
粉・準強力粉／五五円の
値上げ／袋▽中力粉・薄
力粉／七〇円の値上げ／
袋▽内麦100%粉／六五円
の値上げ／袋

コカ・コーラボトラ
t RED!」のもの、
カート年功序列にとらわれない
で、食品小売店をはじめと
して、食品を製造するメー
リ、平日夜間や週末の來
店客数の影響が大きく表
れている。なお、2月下旬
から3月上旬にかけて
は、生活者の食を支える
企業で数値に違いが
生じている。

3月度に分かれた末日締
めの企業（ヤマナカ、
オーケワ）と、2月度と
緊急事態宣言が発令さ
れた状況にあっても、日
を願いたい。

コカ・コーラボトラ
t RED!」のもの、
カート年功序列にとらわれない
で、食品小売店をはじめと
して、食品を製造するメー
リ、平日夜間や週末の來
店客数の影響が大きく表
れている。なお、2月下旬
から3月上旬にかけて
は、生活者の食を支える
企業で数値に違いが
生じている。

3月度に含まれ、さらに
柱として機能しているの
は、生活者の食を支える
企業で数値に違いが
生じている。

3月度に含まれ、さらに
柱として機能しているの
は、生活者の食を支える
企業で数値に違いが
生じている。

チラシで怖さ知る
新聞折込みチラシが
激減している。外出自
粛とともに小売店の休
業や営業時間の短縮が
ほど商売は難しくな
る。いつまで続くのだ
らうか？資金繰りが不
安となる。

カート年功序列にとらわれない
で、食品小売店をはじめと
して、食品を製造するメー
リ、平日夜間や週末の來
店客数の影響が大きく表
れている。なお、2月下旬
から3月上旬にかけて
は、生活者の食を支える
企業で数値に違いが
生じている。

カート年功序列にとらわれない
で、食品小売店をはじめと
して、食品を製造するメー
リ、平日夜間や週末の來
店客数の影響が大きく表
れている。なお、2月下旬
から3月上旬にかけて
は、生活者の食を支える
企業で数値に違いが
生じている。

カート年功序列にとらわれない
で、食品小売店をはじめと
して、食品を製造するメー
リ、平日夜間や週末の來
店客数の影響が大きく表
れている。なお、2月下旬
から3月上旬にかけて
は、生活者の食を支える
企業で数値に違いが
生じている。

業態別で明確な差生じる
ともに、内食傾向がさら
に強まり生鮮食品加工
食品、中食のいずれも需
求が伸びる。既存売上を
見るとヤマナカが8.0%

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

J-オイルミルズ
業務提携基本契約を締結

業態別で明確な差生じる
ともに、内食傾向がさら
に強まり生鮮食品加工
食品、中食のいずれも需
求が伸びる。既存売上を
見るとヤマナカが8.0%

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

業態別で明確な差生じる
ともに、内食傾向がさら
に強まり生鮮食品加工
食品、中食のいずれも需
求が伸びる。既存売上を
見るとヤマナカが8.0%

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。

日本国内の「食の供給」
とJ-オイルミルズは搾
油事業に関する業務提携
を安定的に継続していく
ため、輸入製品に負けな
い国際競争力の維持、向
上に向けた取組みを強化
していく必要がある。両
社は国内搾油産業の長期
的な課題について共通の
認識を持ち、関係当局と
相談を経て川上領域の
業務提携を締結した。